

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	行政法 I	2	山田 真一郎	
平成25年度以前	行政法 I	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ 行政法は、行政と私人との法関係の在り方に関する学問です。行政と私人との関係は、決して様なものではなく、さまざまな形で現れるため、これを分類し、整理する必要があります。また、行政と私人との関係を規律する法原理・原則には、私人間関係にはみられなかったものも登場します。行政法 I では、これらを体系的に学んでいきます。具体的な到達目標は(1)行政法総論の基礎概念を正しく説明することができる。(2)行政活動が服すべき法原理・法原則を正しく説明することができる。(3)重要論点について、論理的かつ説得的に説明できる。の3点です。				言語
授業の概要 通常講義形式で行いません。また、定期試験とは別に計4回ほどの小テストを課します。進捗状況等をみて予告なく行いますので十分な準備が望まれます。なお、可能な限り学生に質問をし、その場で考えてもらいます。				共通
授業計画 第1回:授業ガイダンス + 行政・行政法の意義と行政法の法源 第2回:行政法の基本原理① 行政上の法律関係と法律による行政の原理 第3回:行政法の基本原理② 行政活動に適用される法の一般原理 第4回:行政立法 第5回:行政行為① 行政行為概念・行政行為の種類 第6回:行政行為② 行政行為における裁量 第7回:行政行為③ 行政行為の効力 第8回:行政行為④ 行政行為の瑕疵、取消しと撤回 第9回:行政指導・行政上の契約・行政計画 第10回:行政上の義務履行確保(行政代執行・直接強制・執行罰・金銭の強制徴収) 第11回:行政上の義務履行確保(公表制度・給付拒否等) 第12回:行政手続1(主要判例を中心に) 第13回:行政手続2(行政手続法を中心に) 第14回:情報公開制度 第15回:個人情報保護制度 定期試験 [履修上の注意事項] (1)六法を持参してください。 (2)憲法、民法、刑法等との関連部分について、授業でも簡潔に触れますが、後でそれぞれの基本書の該当箇所を読むなどして復習しておいてください。 (3)授業終了後、基本書を繰り返し読むなど復習を必ず行うよう心がけてください。 (4)小テストは採点し、評価に反映するので、真摯に臨んでください。 (5)シラバスをよく読み、ガイダンスを聞き逃すことのないようにしてください。				専門基礎 法律一般 政治行政
テキスト 櫻井敬子・橋本博之『行政法』[第4版](2013年、弘文堂) 黒川哲志ほか『確認行政法用語230』(2010年、成文堂)				経営法務 スポーツ福祉
参考書・参考資料等 櫻井敬子『行政法のエッセンス』(2007年、学陽書房) 下山憲治・田村達久編『判例ライン行政法』(2012年、成文堂)				演習
学生に対する評価 授業中に行う小テストを3割、定期試験を7割として評価します。				25年度以前 専門基礎科目